

「令和6年能登半島地震」への対応について

日本赤十字社福井県支部
(令和6年1月11日9:00調製)

1 地震の概要

- 発生時刻 令和6年1月1日16時10分頃
- 震源地 石川県能登地方(震源の深さ:16km)
- 地震の規模 マグニチュード7.6
- 震度状況
 - 石川県:震度7(志賀町)、震度6強(七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町)
 - ※ 福井県:震度5強(あわら市)、震度5弱(福井市、坂井市)
 - 石川県能登に大津波警報、福井県沿岸等に津波警報発表
- 被害状況(1月10日14:00現在:石川県)
 - 死者 206名(うち8名関連死) 安否不明者 52名
 - 負傷者 500名以上、住宅被害 1,800棟以上(いずれも確認中)
 - インフラ・ライフライン(土砂崩れ、道路寸断、断水、停電など)
 - ※ 福井県:軽傷者6名、土砂流出、道路液状化、一部地域で断水ほか

2 日赤福井県支部の対応状況

- 支援チーム等の派遣
 - コーディネーターチーム
 - 第1隊(3名:1月2日~4日の3日間)
救護班の派遣調整
 - 救護班
 - 第1班(7名:1月2日~4日の3日間)
高齢者施設でのアセスメントを実施
 - 第2班(8名:1月8日~11日の4日間)
避難所等での巡回診療、コロナ患者等への対応、感染管理指導、薬剤処方等



3 DMAT

- 患者搬送・受入対応(6名:1月6日)
 - 能登町(柳田温泉病院)⇒福井空港SCU⇒福井赤十字病院
 - 第1隊(5名:1月8日~13日の6日間)
患者搬送・受入支援(珠洲市→小松市民病院)
 - 石川県立中央病院での医療支援
 - 小松空港SCUに移送されてきた患者の病院搬送

・ 救援物資の搬送

- (1月3日:救護奉仕団延べ6名の協力)
 - 毛布、安眠セットをそれぞれ穴水町、珠洲市に搬送
 - 穴水町(毛布500枚、安眠セット50セット)
 - 珠洲市(毛布500枚、安眠セット51セット)
- (1月5日)
 - 毛布500枚を富山県支部に搬送
- (1月6日)
 - ラップオン(簡易トイレ)10台を石川県支部に搬送



- ・ 「令和6年能登半島地震災害義援金」の受付開始（令和6年1月4日～12月27日）
- ・ 日赤石川県支部災対本部へ支援要員（予定）
派遣（1名：令和6年1月14日～18日の5日間）

3 福井赤十字病院における患者受入

- ・ 1月7日 2名受入
柳田温泉病院（能登町）⇒福井空港SCU⇒福井赤十字病院
- ・ 1月9日 5名受入
市立輪島病院⇒自衛隊によって福井空港にへり搬送⇒福井赤十字病院

※下線部は追加・更新箇所、網掛け部は未確定部分